



セカンド・パーティ・オピニオン

SECOND PARTY OPINION

関西電力株式会社

グリーンボンド 定期レビュー(第 1 回)

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸, 日本

Date: 2023 年 9 月 29 日

Ref. Nr.: PRJN-333933-2022-AST-JPN-02

目次

I.	スコープと目的	3
II.	発行体および DNV の責任	4
III.	DNV 意見の基礎	4
IV.	評価作業	5
V.	観察結果	6
VI.	意見表明	9
	スケジュール-1 関西電力グリーンボンド 候補プロジェクト	10
	スケジュール 2 グリーンボンド適格性評価手順	11

発行履歴

発行日	主な変更内容
2022 年 3 月 25 日	関西電力株式会社 グリーンボンド・フレームワーク適格性 債券発行前 セカンド・パーティ・オピニオン
2023 年 9 月 29 日	関西電力株式会社 グリーンボンド定期レビュー(第 1 回) (関西電力株式会社第 547 回一般担保社債、第 548 回一般担保社債)

Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by Issuer to us as part of our review procedures have been provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not have been detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17021:2011 - Conformity Assessment Requirements for bodies providing audit and certification of management systems, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct¹ during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements. This engagement work was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. DNV was not involved in the preparation of statements or data included in the Framework except for this Statement. DNV maintains complete impartiality toward stakeholders interviewed during the assessment process.

¹ DNV Code of Conduct is available from DNV website (www.DNV.com)

I. スコープと目的

関西電力株式会社(以下、「関西電力」)は、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン(以下、「DNV」)に関西電力グリーンボンド(関西電力株式会社第 547 回一般担保社債、第 548 回一般担保社債、以下、「この債券」)の定期レビューの実施を委託しています。DNV における定期レビューの目的は、この債券が後述する基準である、グリーンボンド原則(ICMA、2021 年、以下「GBP」)、グリーンボンドガイドライン(環境省、2020 年、以下「GBGLs」)に合致していることを確認するための評価を実施し、この債券の適格性について独立したセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

関西電力は 2022 年 4 月 14 日にこの債券を発行しました。この債券の発行額は合計で 550 億円(第 547 回：300 億円、第 548 回：250 億円)です。DNV のレビューチームは、GBP 及び GBGLs に基づいて、2022 年 4 月から 2023 年 3 月までの期間について、第 1 回目の定期レビューを実施しました。

DNV は、独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、関西電力とは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

この報告書では、グリーンボンドの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の環境便益に関する保証も提供されません。

適用又は参照基準

No.	基準もしくはガイドライン	発行者	適用レベル*1*2
1.	グリーンボンド原則	国際資本市場協会(ICMA)、2021	適用
2.	グリーンボンドガイドライン	環境省、2020	適用
3.	気候ボンド基準 3.0 版 (セクター技術基準)	気候ボンドイニシアチブ、2019	参照 (参照可能な技術基準)*3
4.	グリーンボンド及びソーシャルボンド：持続可能な開発目標(SDGs)に照らしたハイレベルマッピング	国際資本市場協会(ICMA)、2020	参照
5.	インパクトレポート調和化に関する冊子	国際資本市場協会(ICMA)、2021	参照
6.	EU タクソミー	欧州委員会(EC)、2021	参照 (参照可能な技術基準)*4

*1 適用：各ハンドブック、原則やガイドラインに共通する 4 要素全てに対する適格性を評価した

*2 参照：今回対象候補となっているプロジェクトや実行計画に基づき、関連する内容を部分的に考慮した

*3 参照可能な技術基準；「Hydropower」, 「Solar Energy」, 「Wind Energy」 [The Standard | Climate Bonds Initiative](#)

*4 参照可能な技術基準；経済活動 No. 4.1, 4.3, 4.5 [EU Taxonomy Compass \(europa.eu\)](#)

II. 発行体および DNV の責任

発行体の管理者は、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しています。

DNV のステートメントは、独立した意見を表明するものであり、DNV に提供された情報を基礎として、その確立された基準が満たされているか否かについて発行体及びこの債券に関わるその他の利害関係者に情報提供する事が、意図されています。

DNV はそのレビューの中で、発行体によって提供された情報および事実を根拠としています。DNV はこの意見表明によって参照される選定されたグリーンプロジェクト資産の、いかなる側面においても責任を負う立場ではありません。

従って DNV は発行体の管理者から提供され、今回のレビューの基礎として使用された情報またはデータのいずれかが正確でなかった、または完全でなかった場合にその責任を負いません。

III. DNV 意見の基礎

DNV は、発行体に特有のグリーンボンド適格性評価手順（以下、「手順」）を作成するために、GBP 及び GBGLs の要求事項を考慮した関西電力グリーンボンド評価手順を適用しました。この手順は GBP 及び GBGLs に基づく債券に適用可能です。DNV のグリーンボンド評価手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、グリーンボンドは「環境及び社会便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」べきであるというものです。DNV は、グリーンボンドの運用・管理に関連する項目として以下の 4 つの要素を適用して定期レビューを実施しました。

●要素 1：調達資金の使途

調達資金の使途の基準は、グリーンボンドの発行体が適格性を有するグリーンボンドにより調達した資金を使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な環境改善効果を提供するものです。

●要素 2：プロジェクトの評価及び選定のプロセス

プロジェクトの評価及び選定の基準は、グリーンボンドの発行体が、グリーンボンド調達資金を使途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。

●要素 3：調達資金の管理

調達資金の管理の基準は、グリーンボンドの発行体組織によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。

●要素 4：レポート

レポートの基準は、債券への投資家に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的かつ適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

IV. 評価作業

DNV の評価作業は、発行体によって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

初回(グリーンボンド発行前)アセスメント * 本報告書には含まれません

- この評価に資する上述及びスケジュール-2 に関し、グリーンボンド発行への適用を目的とした、発行体特有の評価手順の作成。
- この債券に関して発行体より提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照します。
- 発行体との協議及び、関連する文書管理のレビュー。
- 基準の各要素に対する観察結果の文書作成。

定期(年次)レビュー * 本報告書の内容

- グリーンボンド発行に関連した発行体により提供された根拠書類、上位レベルのデスクトップ調査、文書レビュー、及び発行体の主要担当者へのインタビューで補足された根拠書類、の評価。これらのチェックは、現在の評価ベストプラクティスと標準方法論を参照します。
- 発行体の管理者との協議、および関連文書管理のレビュー。
- 現地調査および検査（必要な場合）。
- 定期レビュー時点での、対象プロジェクト及び資産のレビュー。
- 本書で詳述されている、定期レビューの観察結果の文書作成。

DNV の意見表明（詳細は後述）はこれらを要約したものです。

V. 観察結果

DNV の観察結果と意見は以下の通りです。

要素 1：調達資金の用途

DNV は、関西電力が調達した資金(調達総額 550 億円のうち手取り金 548.4 億円)を、以下の事業に全額充当したことを確認しました。

表-1 資金充当状況(2023年3月31日時点)

グリーンプロジェクト 大分類	グリーンプロジェクト 中分類	充当額 (うちファイナンス額)
再生可能エネルギー	水力発電事業(152 箇所 ^{*1})	435.4 億円 (397 億円)
	太陽光発電事業(3 箇所)	103.5 億円 (55.5 億円)
	風力発電事業(洋上:2 箇所、陸上:1 箇所)	2.7 億円 (1.5 億円)
	屋根置き太陽光事業(デマンドサイド)(2 箇所)	6.0 億円
	水素事業(R&D)	0.6 億円 (0.6 億円)
	充当合計額	548.4 億円 (454.7 億円)

*1：運転開始済みのすべての施設を充当対象としています。また、集中管理制御施設に一部充当しています。

スケジュール 1 に、これらグリーンプロジェクトの一覧を示しています。

DNV は上記の選定されたプロジェクト及び資産が適格性を満たしていることをレビューしました。

要素 2 : プロジェクトの評価及び選定のプロセス

DNV はレビューを通じて関西電力がスケジュール-1 に記載されるグリーンプロジェクトを評価・選定するにあたって、経理室財務グループがフレームワークで定義された適格クライテリアに基づき候補を選定し、社内関係部門との協議を経て、最終決定したことを確認しました。

プロジェクトの評価及び選定にあたっては、「I スコープと目的 適用又は参照基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、関西電力グループが中長期的に目指す環境管理の方向性を定めた「関西電力グループ環境方針」に則ったものであることを確認しました。

要素 3 : 調達資金の管理

DNV は、債券発行後から 2023 年 3 月 31 日時点まで、関西電力が調達資金をどのように管理しているかについて提示された証拠をレビューしました。

DNV は、関西電力の経理室財務グループが、調達資金を関西電力にて規定されている資金管理フローに従い、内部管理システムにて調達資金と実際の支出を四半期単位で追跡管理していることを確認しました。資金充当状況は表-2 のとおりです。

なお、先述の通り、ここでは DNV は債券の財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、もしくは長期的な環境効果に関する取扱いは提供されません。

表-2 資金充当状況(2023 年 3 月 31 日時点)

グリーンbond調達額のうち手取り金	548.4 億円 (調達額 550 億円)
水力発電事業への充当	435.4 億円
太陽光発電事業への充当	103.5 億円
風力発電事業への充当	2.7 億円
屋根置き太陽光事業(デマンドサイド)への充当	6.0 億円
水素事業への充当	0.6 億円
未充当残高	0.0 億円

要素 4 : レポーティング

DNV はグリーンボンドで要求される特定の項目に関して、関西電力が、関西電力のウェブサイト及び統合報告書にて年次報告・公開することを確認しました。またプロジェクト概要、資金充当・運用状況並びに関連する定量的及び定性的な環境評価結果(再生可能エネルギーに関する事業における CO₂ 排出量削減量等)が含まれていることを確認しました。

DNV は定期レビューを通じて、グリーンプロジェクトによりもたらされた環境改善効果が、債券発行前に関西電力が定めた方法で適切に算定されていること、また環境改善効果が概ね計画通り得られていることを確認しました。

表-3 に関西電力グリーンボンドのうち商用運転開始済プロジェクトでの環境改善効果評価結果を示します。

表-3 環境改善効果

プロジェクト	環境改善効果
水力発電事業(152 箇所)	年間発電電力量 : 12,078,417 千 kWh CO ₂ 削減効果 : 5,072,935 t-CO₂^{*1}
太陽光発電事業(3 箇所)	年間発電電力量 : 66,800 千 kWh CO ₂ 削減効果 : 28,056 t-CO₂^{*1}
風力発電事業(3 箇所)	年間発電電力量 : 4,400 千 kWh CO ₂ 削減効果 : 1,848 t-CO₂^{*1}
屋根置き太陽光事業(デマンドサイド)(2 箇所)	年間発電電力量 : 4,730 千 kWh CO ₂ 削減効果 : 1,987 t-CO₂^{*2}
水素事業(R&D)	水素発電(混焼・専焼)小規模実証に関して、順調に進捗していることを確認。

*1 : CO₂ 削減効果 = 2022 年度年間発電電力量(kWh) × 電気事業者別 CO₂ 排出係数(kg-CO₂/kWh) × 出資比率(%) / 1,000

*2 : CO₂ 削減効果 = パネル容量(kW) × 発電時間(1,100h/年) × 排出係数(kg-CO₂/kWh)

(電気事業者別 CO₂ 排出係数[出所 : 環境省])



VI. 意見表明

DNV は、関西電力から提供された情報と実施された業務に基づき、関西電力が発行したグリーンボンドは評価手順の要求を満たしていること、GBP 及び GBGLs の中で述べられている「環境への利益を伴う新規プロジェクトもしくは既存プロジェクトへの資本調達および投資を可能にする」というグリーンボンドの定義・目的と一致していることを意見表明します。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2023 年 9 月 29 日

トーマス レオナルド

サプライチェーン&製品認証 サステナビリティサービス ヘッド
DNV オーストラリア、ニュージーランド&東南アジア

前田 直樹

代表取締役社長
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

鳥海 淳

プロジェクトリーダー
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

塚崎 旭

アセッサー
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight. With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.



スケジュール-1 関西電力グリーンボンド 候補プロジェクト

関西電力グリーンボンド・フレームワークに基づくスケジュール-1に記載されるプロジェクト分類のうち、関西電力グリーンボンドでは水力発電事業、風力発電事業、太陽光発電事業、水素事業、創エネ・蓄エネの推進に関する事業(太陽光発電設置)に資金が充当されています。

関西電力グループ自ら取り組むこと(サプライサイド)

グリーンプロジェクト 大分類	グリーンプロジェクト ^{*1} 中分類	グリーンプロジェクト概要
再生可能エネルギーに関する事業	水力発電事業	水力発電事業の開発、建設、運営、改修
	風力発電事業	風力発電事業の開発、建設、運営、改修
	太陽光発電事業	太陽光発電事業の開発、建設、運営、改修
	地熱発電事業	地熱発電事業の開発、建設、運営、改修
	バイオマス発電事業	バイオマス発電事業の開発、建設、運営、改修
	水素事業	水素製造・輸送・供給、発電用燃料としての利用など、水素関連の調査や実証

お客さまや社会の皆さまとともに取り組むこと(デマンドサイド)

グリーンプロジェクト 大分類	グリーンプロジェクト ^{*1} 中分類	グリーンプロジェクト概要
再生可能エネルギーに関する事業	創エネ・蓄エネの推進に関する事業	太陽光発電設置、蓄電池設置 等
クリーン輸送に関する事業	運輸分野の電化推進に関する事業	電気自動車 等
エネルギー効率に関する事業	コミュニティ分野のゼロカーボントウン創出に関する事業	VPP、エネルギーマネジメント 等

*1: 関西電力グリーンボンドは、スケジュール-1に記載されるプロジェクトから何れか又は複数を選定し充当する予定です。充当対象となったプロジェクト種別は年次報告で開示される予定です。現時点で開発、計画中であり具体的な候補プロジェクトが存在しないグリーンプロジェクト分類については、将来的に関西電力により評価・確認されたものが充当対象となります。



スケジュール 2 グリーンボンド適格性評価手順

下記のチェックリスト(GBP-1 ~ GBP-4) は、グリーンボンド原則 2021 を基に、資金用途を特定する関西電力グリーンボンド適格性評価用に作成された DNV 評価手順です。

GBP-1 調達資金の使途

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果																				
1a	資金の種類	グリーンボンドの種類は GBP で定義される以下の種類のいずれかに分類される。 ・(標準的)グリーンボンド ・グリーンレベニューボンド ・グリーンプロジェクトボンド ・その他	確認した文書類： - 関西電力グリーンボンド・フレームワーク (以下、フレームワーク) - 訂正発行登録書 関西電力関係者(以下、関係者)へのインタビュー	評価作業を通じ、関西電力グリーンボンドは以下のカテゴリに分類されることを確認した。 ・(標準的)グリーンボンド																				
1b	グリーンプロジェクト分類	グリーンボンドにおいて肝要なのは、その調達資金がグリーンプロジェクトのために使われることであり、そのことは、証券に係る法的書類に適切に記載されるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - グリーンプロジェクト関連文書 関係者へのインタビュー	DNV は、関西電力が 2023 年 3 月 31 日時点までに今回のグリーンボンドにより調達した資金 550 億円、うち手取り金 548.4 億円を、GBP 及び GBGLs で示される以下の代表的な適格プロジェクトカテゴリに合致した 9 つのグリーン候補プロジェクトのうち、01,02,03,06,07 の 5 つのプロジェクトに対し充当したことを確認した。 <table border="0"> <tr> <td>プロジェクト分類</td> <td>カテゴリ</td> </tr> <tr> <td>01 水力発電事業</td> <td>再生可能エネルギー(サプライサイド)</td> </tr> <tr> <td>02 風力発電事業</td> <td>再生可能エネルギー(サプライサイド)</td> </tr> <tr> <td>03 太陽光発電事業</td> <td>再生可能エネルギー(サプライサイド)</td> </tr> <tr> <td>04 地熱発電事業</td> <td>再生可能エネルギー(サプライサイド)</td> </tr> <tr> <td>05 バイオマス発電事業</td> <td>再生可能エネルギー(サプライサイド)</td> </tr> <tr> <td>06 水素事業</td> <td>再生可能エネルギー(サプライサイド)</td> </tr> <tr> <td>07 創エネ・蓄エネの推進</td> <td>再生可能エネルギー(デマンドサイド)</td> </tr> <tr> <td>08 運輸分野の電化推進</td> <td>グリーン輸送(デマンドサイド)</td> </tr> <tr> <td>09 コミュニティ分野のゼロカーボンタウン創出</td> <td>エネルギー効率(デマンドサイド)</td> </tr> </table>	プロジェクト分類	カテゴリ	01 水力発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)	02 風力発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)	03 太陽光発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)	04 地熱発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)	05 バイオマス発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)	06 水素事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)	07 創エネ・蓄エネの推進	再生可能エネルギー(デマンドサイド)	08 運輸分野の電化推進	グリーン輸送(デマンドサイド)	09 コミュニティ分野のゼロカーボンタウン創出	エネルギー効率(デマンドサイド)
プロジェクト分類	カテゴリ																							
01 水力発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)																							
02 風力発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)																							
03 太陽光発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)																							
04 地熱発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)																							
05 バイオマス発電事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)																							
06 水素事業	再生可能エネルギー(サプライサイド)																							
07 創エネ・蓄エネの推進	再生可能エネルギー(デマンドサイド)																							
08 運輸分野の電化推進	グリーン輸送(デマンドサイド)																							
09 コミュニティ分野のゼロカーボンタウン創出	エネルギー効率(デマンドサイド)																							



Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果									
1c	環境面での便益	調達資金使途先となる全てのグリーンプロジェクトは明確な環境面での便益を有すべきであり、その効果は発行体によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - グリーンプロジェクト関連文書 関係者へのインタビュー	グリーンプロジェクトは、関西電力の環境方針および中長期ビジョンに基づく目標に貢献する 1b で示すプロジェクト分類及びカテゴリーのプロジェクトにより低・脱炭素化を通じた CO ₂ 排出量削減をはじめとする環境面での便益を有する。DNV は、環境改善効果は CO ₂ 排出削減量、導入施設概要、発電出力等で定量的に評価され、年次報告されることを確認した。									
1d	リファイナンスの割合	調達資金の全部あるいは一部がリファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、発行体は、初期投資に使う分とリファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトポートフォリオがリファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。	確認した文書類： - フレームワーク - グリーンプロジェクト関連文書 関係者へのインタビュー	<p>DNV は、関西電力が 2023 年 3 月 31 日時点までにグリーンボンドにより調達した資金のうち 548.4 億円を、以下の通り充当していることを確認した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>充当額</th> <th>プロジェクト分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規投資</td> <td>93.7 億円 (調達額の約 20%)</td> <td>01,02,03,07</td> </tr> <tr> <td>リファイナンス</td> <td>454.7 億円 (調達額の約 80%)</td> <td>01,02,03,06</td> </tr> </tbody> </table>		充当額	プロジェクト分類	新規投資	93.7 億円 (調達額の約 20%)	01,02,03,07	リファイナンス	454.7 億円 (調達額の約 80%)	01,02,03,06
	充当額	プロジェクト分類											
新規投資	93.7 億円 (調達額の約 20%)	01,02,03,07											
リファイナンス	454.7 億円 (調達額の約 80%)	01,02,03,06											



GBP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	<p>グリーンボンドの発行体はグリーンボンド調達資金の使途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限定されるものではない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行体が、対象となるプロジェクトが適格なグリーンプロジェクトの事業区分に含まれると判断するプロセス グリーンボンド調達資金の使途となるプロジェクトの適格性についての規準作成 環境面での持続可能性に係る目標 	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> フレームワーク グリーンプロジェクト関連文書 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>発行体が、グリーンボンド調達資金の使途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセスを有しており、その概要をフレームワークの中で明記していることを確認した。</p> <p>また、発行体が適格性を判断するプロセスに、プロジェクトに関連して認識されている社会的および環境的リスクを特定し管理するプロセスを実施している、または実施される手順が含まれることをアセスメントを通じて確認した。</p>
2b	発行体の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	<p>グリーンボンドプロセスに関して発行体により公表される情報には、規準、認証に加え、グリーンボンド投資家は発行体のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> フレームワーク 関西電力グループ中期経営計画(2021-2025) 関西電力グループ「ゼロカーボンロードマップ」 ウェブサイト(ゼロカーボンビジョン2050他) <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>発行体の実施するグリーンプロジェクトは、発行体の「関西電力グループ中期経営計画(2021-2025)」及び「関西電力グループ「ゼロカーボンビジョン 2050」とその実現に向けた道筋を定めた「関西電力グループ「ゼロカーボンロードマップ」と一致していること、またプロジェクトの実行にあたっては、「関西電力グループ環境方針」や所在国の法制度等に基づき、環境側面が十分に配慮され、適切に対処、若しくは対処計画されていることを確認した。また、DNVは、フレームワーク等の文書の確認や関係者へのインタビューを通じ、対象事業固有の環境・社会影響評価が、関連する技術基準等を参照し考慮されていることを確認した。</p> <p>また、DNVはプロジェクト及び資産の選定が関西電力の関連部署及び責任者により決定されたことを確認した[経理室財務グループ]。DNVは文書レビュー及び関西電力へのインタビューを通じ、2bの要求事項を満足していると結論付ける。</p>



GBP-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	グリーンボンドによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、グリーンプロジェクトに係る発行体の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、発行体によって証明されるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - 関西電力内部管理文書類（資金管理表） 関係者へのインタビュー	DNVは、グリーンボンドで調達された資金の充当と管理は経理室財務グループが行い規定の資金管理フローに従い内部管理システムにて、予算と実際の支出を追跡管理していることを確認した。 DNVは、関西電力が上記プロセスに基づき内部統制による追跡管理を実施していることを確認した。
3b	調達資金の追跡管理-2	グリーンボンドの償還期間において、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - 関西電力内部管理文書類（資金管理表） 関係者へのインタビュー	DNVは、関西電力が充当額と未充当残高の合計が調達資金と一致していることを定期的に確認していることを確認した。
3c	一時的な運用方法	適格性のあるグリーンプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、発行体は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - 関西電力内部管理文書類（資金管理表） 関係者へのインタビュー	DNVは、調達資金の充当が完了するまでの間、関西電力が未充当金を現金及び現金同等物にて管理していることをアセスメントを通じて確認した。また、未充当金の残高は、資金充当状況のレポートを通じて明らかにされる予定であることを確認した。



GBP-4 レポートニング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
4a	定期レポートの実施	<p>調達資金の使途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、発行体はグリーンボンドで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を考慮した上で、各プロジェクトのリストを提供すべきである。</p> <p>-守秘義務や競争上の配慮 -各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境・社会的な効果</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> - フレームワーク - 統合報告書 - ウェブサイト <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNV は、調達資金の全額が充当されるまでの間、発行体がグリーンボンドの年次報告をウェブサイトに及び統合報告書を通じて実施し、資金充当状況および環境改善効果に関する情報を開示することを確認した。</p> <p>環境改善効果は、守秘義務の範囲内、かつ、合理的に実行可能な限りにおいて、下記のいずれか又は複数を開示することを確認した。</p> <p>インパクトレポートニング <関西電力グループ自ら取り組むこと(サプライサイド)> 再生可能エネルギー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの設備容量(MW/年) ・再生可能エネルギーのCO₂排出削減量(t-CO₂/年) <p>水素事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素製造量(t/年) ・実証実験の概要 <p><お客さまや社会の皆さまとともに取り組むこと(デマンドサイド)> 創エネ・蓄エネの推進に関する事業 運輸分野の電化推進に関する事業 コミュニティ分野のゼロカーボンタウン創出に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適格事業の概要 ・CO₂排出削減量(t-CO₂/年)